

サステナビリティ経営方針

2025年8月

有限会社藤屋幸次郎商店

代表取締役 君島 美昭

サステナビリティ経営方針

世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、当社は企業には「持続可能(サステナビリティ)な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。

また、近年、SDGsへの関心の高まりなど、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

当社事業の意義

温泉は人々の健康増進に対する効果が期待されます。そして、訪れる人々が心身ともにリフレッシュできるような場や機会を提供することは、健康増進のみならず、交流人口の拡大を通じて、新たな事業や雇用の創出、地域産業の振興、ひいては、地域の活性化に大きく寄与する可能性を持っています。地域の貴重な自然資源である温泉を活かした当社の事業は、あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活の向上に資するとともに、地域の活性化にも繋がる事業であることから、社会課題解決の観点からも意義のあるものと考えております。

今回の検討結果

今回のサステナビリティ経営方針の策定にあたり、当社のこれまでの取り組みや当社を取り巻く経営環境の変化をあらためて見つめてみますと、人手不足の深刻化が懸念される中、国籍・性別・年齢に関わらず多様な人材が生き生きと働くことのできる環境を整備することが、人材の確保・定着のために重要と考えます。また、引き続き社会的課題である環境負荷低減のための取り組みを推進するとともに、温泉事業を持続するためには地域・社会との関係をさらに深めることが重要と考えます。

そこで、次の四つを重要課題(マテリアリティ)として、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを充実・強化してまいります。

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

ダイバーシティ経営の推進

選定理由

国籍・年齢・性別にかかわらず多様な人材が生き活きと働ける職場環境を整備することは、従業員のモチベーションやエンゲージメントの向上に資し、持続的な経営に不可欠であることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 公平・公正な処遇や労働環境の整備
- 各種休暇を取得しやすい風土づくり
- 従業員のスキルアップ支援(研修受講料の助成)
- 従業員の相互理解増進のための取り組み(当社独自の大田原温泉テスト)の実施
- マルチタスク、マルチ言語(英中韓)対応人材の確保・育成

取組効果

- 生産性向上
- 人材確保・定着



KPI(目標と指標)

- マルチタスク対応人材を2030年までに5名以上確保・育成
- マルチ言語対応人材を2030年までに2名以上確保・育成
- マルチタスク、マルチ言語対応手当の継続
- 大田原温泉テストを年1回以上実施

マテリアリティ

環境配慮製品の利用

選定理由

環境配慮製品を利用することは、環境負荷の低減など持続的な経済社会の維持に不可欠であることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 環境負荷のより少ないレジ袋の使用
- 過剰包装の削減
- マイボトル・割り箸利用の推進
- リサイクル材使用の推進(紙、プラスチック、金属、包装材等)
- リサイクルの推進(PETボトル、ダンボール、雑誌等)

取組効果

- プラスチックゴミの削減による持続可能な消費



KPI(目標と指標)

- 環境負荷のより少ない製品(アメニティ等)への転換を順次行う

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

環境負荷低減

選定理由

温室効果ガスの排出量の削減に取り組むことは、持続的な事業活動に資することからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- LED化の推進
- 照明のこまめな消灯や待機電の節約
- 送迎用車両の電動化
- 工程改善等ロス削減による省エネ推進
- 温泉水の排熱利用

取組効果

- カーボンニュートラルの実現
- 競争優位性の向上



KPI(目標と指標)

- 2026年10月までに全館LED化
- コンプレッサーの更新(随時)
- 2030年までに送迎用車両を電動化

マテリアリティ

産業振興・地域活性化

選定理由

温泉事業を行う上で、地域社会・住民との信頼関係が重要であり、地域とのエンゲージメントを高めるための取り組み効果が高いと考えられることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- サウナ文化定着に向けた施設整備
- 地域住民を対象としたイベント企画・実施
- 職業体験機会の提供
- 地域の魅力情報の発信
- 外部活動団体やスポーツ選手に対する支援
- 地域のスポーツ大会、イベントへの参加・協賛

取組効果

- 地域活性化への貢献
- 地域社会との信頼関係の構築
- 従業員満足度の向上



KPI(目標と指標)

- 屋外サウナ施設の整備(2030年まで)
- イベント(アウフゲース等)の実施件数(月1回以上)
- 情報発信件数(年1件以上)
- 職場体験機会の提供(年1回以上)
- イベント等への協賛等の件数(対前年比同程度)